平成 24 年度
千葉市健康づくり推進協議会
第 1 回食育推進部会
議 事 録

保健福祉局健康部健康支援課

平成 24 年度千葉市健康づくり推進協議会 第 1 回食育推進部会 議事録

1 会議の名称

平成 24 年度千葉市健康づくり推進協議会 第 1 回食育推進部会

2 開催日時

平成 25 年 1 月 10 日（木） 午後 3 時から午後 4 時 20 分

3 開催場所

千葉市美浜区幸町 1-3-9

千葉市保健所 2 階 健康学習室

4 出席者

(1) 委員

渡邊智子部会長、斉藤浩司委員、杉崎幸子委員、岡部明子委員、藤沼照雄委員、清水葉子委員、
畠山一雄委員、木村多恵子委員、木川茂雄委員、伊藤和彦委員、斎藤昌雄委員、斎藤克信委員、
横田大輔委員、緒方奈々子委員、杉山初江委員

※ 欠席委員

大濱洋一副部会長、永島玲子委員

(2) 事務局

山口淳一健康部長、窪田和子健康部技監兼健康支援課長、深堀葉子消費生活センター所長、
西村正樹生活衛生課主幹、山本一重食品安全課長、富田薫高齢福祉課長補佐、
渡辺康弘こども企画課担当課長、渡邊博典健全育成課長、松尾修一保育支援課長、
重田清江保育運営課担当課長、石川功廃棄物対策課長補佐、植草栄司農政課長、
福原晃農業経営支援課長補佐、森田悟農業生産振興課係長、石原信夫稲毛区健康課長、
飯田良指導課主任指導主事、松井広樹保健体育課長補佐、君塚常行生涯学習振興課長補佐、
増田幸一健康支援課長補佐

5 議題

(1) 千葉市食育推進計画の取組状況について

(2) 今後の食育推進の取り組みについて

①平成 25 年度食育のつどい

②次期千葉市食育推進計画の策定

(3) その他

6 議事の概要

冒頭、事務局から、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第 7 条第 7 項の規定により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨の説明があった。

(1) 千葉市食育推進計画の取組状況について

千葉市食育推進計画の概要について、事務局から説明を行った。

千葉市における食育推進計画の取り組み状況について、事務局から説明を行った。

関係機関における食育推進の取り組みについて、ちばコープ、千葉市食生活改善協議会、千葉県栄養士会、千葉県歯科衛生士会から報告があった。

千葉市食育推進計画数値目標の進捗状況について事務局から説明を行った。

(2) 今後の食育推進の取り組みについて

平成 25 年度の食育推進の取り組み(食育月間・食育の日、食育のつどい)及び、次期千葉市食育推進計画の策定について事務局より説明を行った。

(3) その他

今後の審議日程等について、事務局から説明を行った。

7 会議経過

(1) 千葉市食育推進計画の取組状況について

資料 3 「千葉市食育推進計画の概要」により、国・千葉県の食育推進の概要、千葉市食育推進計画の概要について、事務局から説明を行った。

次に資料 4 「千葉市食育推進計画 取り組み一覧表」と資料 5 「平成 24 年度食育のつどい 報告」により、千葉市の食育推進計画取り組み状況について、事務局から説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<委員>

庁内の取り組みを見て、非常にかっこよかった。千葉市の子どもは7割は幼稚園に通う。この中で記載されているのは、「各私立幼稚園で実施」の1行。データ等を配布するのは、保育所のみで、幼稚園にはどうして配布しないのか、という疑問がある。

幼稚園の管轄は、県かも知れないが、あまりにも冷たすぎるのではないかと。保育運営課は保育所の子どものことしかやらないのか。そういったところをウォッチするセクションを作るか、健康部の中に何か作るような事をしないと、今後、子育て関連法案ができて、幼稚園が市の管轄になるかもしれない。同じ世代の子どもを幼稚園教育で担っているのだから、もう少し丁寧なスタッフの展開を次期の計画の中には入れてやっていただきたい。

幼稚園協会は、公益社団法人になったので、幼児期の子どもの健康づくりに積極的に対応していきたいと思う。行政も幼稚園に通っている子どもに、もう少し光をあてた施策展開をしていただきたい。

<事務局>

確かに、現状でいうと私立という観点で、今までは幼稚園の担当は、県という認識で進んできたのは間違いのないことである。

今後、子ども支援の制度が大幅に変わり、子どもに対する助成制度や中身が変わるので、子どもを幼稚園、保育園という区別なく、庁内の組織体制も変えていかないといけない。幼稚園に対する食育に関しても、保育所と同等にできるような形で組織体制を作っていきたいと考えている。

次に資料 6 「関係機関における食育推進の取り組み」により、委員から報告を行った。

<委員>

配布資料はおしゃべりひろば、きやっせ物産展(ちばの食を中心にした物産展)、消費者力育成セミナー(年5回開催、今回は食の安全について)

コープ会を月1回、県内100か所位で開催し、決まったテーマで話をしている。配布したおしゃべりひろばは、昨年6月の食育月間に、食について考えるきっかけ作りとして、食に前向きに意識を持ってもらうために開催した内容を広報でお知らせしたものである。

昨年度、県の消費生活の安定及び向上に向けた県民提案型事業として県と一緒に作成した資料『「食」の力をつけるワークショップ開催にむけたガイドブック』を利用してママの学習会を企画しているが、その中で一番身近な食べ物の話が好評であった。自分たちが作成した資料にこだわらず、いろいろな資料を使用している。

連携は、いろいろなところでクロスして進めていくことが大事であり、食育にとどまらず、地域コミュニティをみんなで作っていくという視点でやっていければと思う。

<委員>

地区伝達講習会として、地域の住民を対象に健康づくりに関する講習会等を実施している。平成23年度は、保健福祉センターや公民館等で469回13,062名に実施した。

千葉県食生活協議会の委託事業として、おやこの料理教室なども実施した。

市民健康づくり大会や千葉地域食育推進大会では、パネルの展示やレシピを配布した。

<委員>

食育健康料理教室の中で、親子料理教室を実施した。親子で作ることを主旨に、学校や保育所の栄養士が中心に運営した。資料の配布は、会場近くの学校が中心となるため、千葉市全域に情報が行きわたっていない。今後も継続していきたい。

親子で初めて料理を作った、初めて包丁を握ったなど、子どもたちが積極的に参加している事業である。

<委員>

今年度は第19回かむ子のびる子元気な子健康かみかみ弁当料理コンクールを開催した。千葉県や千葉県栄養士会、千葉県調理師会、千葉県学校給食会などの協力を得て実施している。今年の県知事賞は、親子4代続く味を守る、日頃家庭で食べているものをお弁当に詰めたもので、小学生が受賞した。

また、普及のために、講師を千葉県栄養士会に依頼し、親子仲良しクッキングを生涯学習センターで開催した。

千葉地域食育推進大会では、受賞作品の紹介やレシピ集を配布した。毎年、レシピ集は、2,000枚位配布している。

次に、資料7「千葉市食育推進計画 数値目標進捗状況」により事務局から説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<委員>

15年前から地域保健推進員や社会福祉協議会の児童母子福祉委員をしている。その間、赤ちゃんサークルや1歳児サークルを立ち上げた。

おかあさんは、朝ごはんを食べているかが気になり、あかちゃんサークルで質問してみた。その結果、ご主人と一緒に食べた人は1人のみ、あとは、離乳食と一緒に食べながら食べた人、季節柄おもちゃを食べた人、また、妊娠中から朝食を食べる習慣がない人も1人いた。立ったまま、残りのものを口に入れて、終わりにする方もいた。1歳児サークルで、食生活改善推進員が、レシピつきおやつを配ってくれることがある。ほとんどのママは、喜んでくれるが、これ大丈夫？危険性はない？ということを目にするということもある。ネットだけでなく、目上の人の経験談も参考にすれば、地

域の方の温かい気持ちを素直に喜ぶことができると思うと残念な気もする。「今は昔とは違う」の一言で片付けず、少しでも地域のママたちの相談窓口になればという気持ちで活動を続けている。

<委員>

学校における食育の推進は、新学習指導要領で位置づけられている。子どもたちの生活や学習の基盤として食に関する指導の充実が求められている。

手洗い、配膳、正しい食事の取り方、箸の使い方、食器の片付け方など給食で指導している。また、栄養士が各教室を回って指導をしたり、試食会で保護者へ啓発をしている。

社会科では、日本の農水産物について学んでいる。4年生は、ごみの分別スクール等に参加して貴重な体験をしている。家庭科では、献立作成や調理実習等でバランスのとれた食事を意識している。体育では、食生活と健康に取り組んでいる。

これからは、知育・徳育・体育・そして食育をしていかななくてはいけない。食生活や生活習慣の改善、そして保護者・家庭の教育が不可欠である。また授業でも、教師の工夫、栄養教諭の活用など課題もあるので、これから取り組んでいこうと思う。

<委員>

中学校は、共同調理場方式なので、栄養士の全校配置はなく、給食センターの栄養士が年2回来校し、給食センターの説明と食についての指導がある。

中学校の場合、学校にもよるが、「食育」は十分ではないと思う。年2回「お弁当の日」があり、自分で作る、家族と一緒に作るということが増えてきた。デザートとして、みかん1個をタッパーに入れてくる男の子もいたが、おかあさん並みのお弁当を作る子もいた。学校では作ってくれた人への感謝の気持ちを伝えるように指導している。

朝食を取ると、学力が上がるということが盛んに言われているので、食べてはいるが、菓子パン、ジュースなどという家庭もある。

地域性もあるが、祖父母と同居している家庭、父子家庭、母子家庭も多く、食育とあわせて規則正しい生活を送ることが課題である。

(2) 今後の食育推進の取り組みについて

資料8「平成25年度食育推進の取り組み」により事務局から説明を行った。

<委員>

しよいか〜ご千葉店はちょうど7周年を迎えた。学校における食育や地産地消の推進、千葉市内の農産物をもっと知ってもらうために年間95回のイベントを開催している。

ぜひ、食育のつどいの会場として、しよいか〜ごを使っていたきたい。

資料9「次期千葉市食育推進計画の策定」により事務局から説明を行った。

(3) その他

次回の部会は、9月頃に予定していると事務局から説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<委員>

小学校、幼稚園の時期に食習慣を身につけるのは非常に大事なことだと思う。幼稚園でも畑を作って、野菜を育てて食べたり、米を育てて収穫したり、いろいろなことをしている。

保育所で作ったパンフレット等を、幼稚園にも配布する。ホームページを作ったら、幼稚園協会を通じてリンクを貼る、そういうことをやっていただけないか。

<事務局>

保育と同じ局なので、できるだけ保育の方で作った資料等、いただけるものがあれば、幼稚園の方に積極的に提供し、同じような形で利用できるものがあれば、どんどん利用してもらおうようにしていきたい。

<委員>

障害のあるお子さんも視野に入れて今後、資料を作成していただけるとありがたい。

また、おかあさんたちは、ほめられる機会が少ないので、おかあさんの支援ということも盛り込んだおかあさんたちが活用しやすいものを作っていただけると大変ありがたい。

以上のおり議事を進め、午後4時20分頃に閉会した。

以上

平成25年1月10日（木）開催の平成24年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会の議事録として承認し、署名する。

千葉市健康づくり推進協議会 食育推進部会長

問い合わせ先 保健福祉局健康部健康支援課

電話 043-238-9926

F A X 043-238-9946

電子メール shien.HWH@city.chiba.lg.jp